



JR東日本豊田運輸区における 人間破壊の強制転勤を 絶対に許さない！！

JR東日本豊田運輸区に勤務するJR東労組組合員のAさんは、駅勤務での人間関係で心身状態に異常が発生したため、産業医などと相談の上、豊田運輸区に異動し車掌として勤務していました。その結果、Aさんの心身状態も回復に向かっていました。

しかし、区長、副区長は5月13日、Aさんの退勤時間に突如、駅への異動の話がされました。Aさんは駅での体験がフラッシュバックし出勤できない状態に追い込まれました。

ようやく6月3日に出勤できるようになったところ、乗務中に運輸区に呼び戻され、駅への異動の事前通知が手交されたのです。Aさんは混乱症状を発症してしまいましたが、これを見た管理者は「また演技みたいにして！おかしいふりをするのはやめよう！」「何があっても事前通知を出す」「なんだ！その態度は！」などと、Aさんの人格を否定する対応をしてきたのです。その結果、Aさんは出勤できない状況に追い込まれ病気休職となっています。

JR東労組は第42回定期大会で「企業権力を使った人間破壊であり、犯罪行為」「会社が強行するのであれば、社会的にも明らかにしていく」ことを決定しました。JR東日本は6月15日になって、Aさんに「発令日を延伸する」と通知しましたが、これで安心できるはずがありません！JR東労組は経営姿勢の是正と「白紙撤回」に向け、連帯する全ての仲間と共に闘いを継続するとしています。

私たちJR東海労は、JR総連に結集する全国の仲間と共に、JR東労組の仲間と連帯して闘います！